

北九州市発達障害者支援地域協 議会・専門部会 (第一部会(支援システム検討部会))

北九州市保健福祉局精神保健・地域移行推進課

専門部会の構成②

●第一部会(支援システム検討部会)

(検討課題)

- ・幼児期から成人後までの重層的な支援システム、MSPA活用
- ・健診や治療、相談などの機会を活かした「特性の気づき・理解」
- ・当事者の生活を支える「基本の手立て」の継続支援
(構成委員) 学識経験者、医療、教育(大学含む)、福祉、就労、家族 計10名

第一部会（支援システム検討部会）

●検討内容（計7回開催）

1 事例検討主体に議論

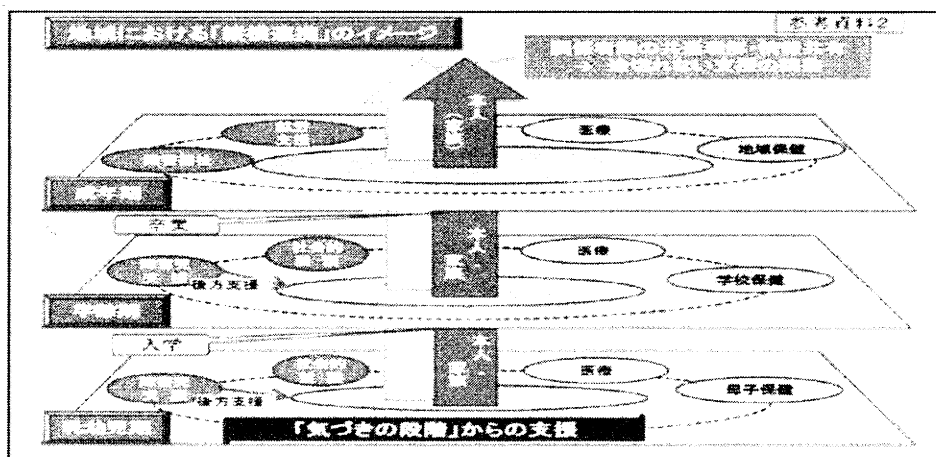
（理由）

部会構成員の日ごろの実践が連携のモデルであり、
具体的な連携事例を明らかにし支援システム構築の
課題を明確化するため。

（事例） 7事例（地域医療連携、学校等での支援、大学での支援、
就労支援、保護者支援、地域相談支援、成人期の支援）

3

第一部会（目指すもの）



障害児支援の在り方に関する検討会報告書・概要版（平成26年7月）

4

第一部会（見えてきた課題）

- 個に応じた支援体制を組めたケースは予後も安定（発表事例から）。
- 本人や家族、身近な地域関係者に、地域の社会資源や専門機関の利用法等の情報が届いていない。
- 一部の専門職が個に応じたネットワークづくり、支援方針調整、情報引継ぎなど幅広く対応している。
- 一人のコーディネーターが全ての調整を担うのではなく、各機関、部署にいるコーディネーターの間で情報交換できる仕組みが必要。
- 新たな仕組み、コーディネーターの配置には時間が必要、まず専門機関の機能や連携方法のガイドラインを作って提示してはどうか。

5

第一部会（今後必要な取組み）

- 専門機関のコーディネーターが集まる情報共有や調整の仕組みづくり
- 地域支援者向けの専門機関へのアクセス方法や相談方法のガイドランス（ガイドラインの作成、提示）
- 専門機関の機能、役割についての現状把握、効果検証、地域支援者への情報発信
- 地域支援者における支援の好事例に関する情報収集と横展開のネットワーク

6